

血洗い池

この小さな池は、元はもっと大きくて海につながっており、地元の漁師が嵐の際に船を避難させるのに使われていました。伝承では、九鬼が池の近くで自害した後、介錯人（切腹を見届け、本人が腹を切った後その首を刀で切る剣士）を務めた腹心の家臣が、九鬼の刀をこの池の水で洗ったと言われています。池の名前は英語で「blood-washing pond（血を洗う池）」という意味です。